

施策評価シート（平成29年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	5-1	政策名	効率的・効果的な行政運営	政策の 目指す姿	満足度の高い行政サービスを提 供しています	施策 主管課	秘書政策課	施策主管 課長名	菅野 圭
	施策No.	4	施策名	行政評価の活用	施策の 目指す姿	常に適切な施策が講じられて います	関係課名			
	現状と課題	・花巻市まちづくり総合計画に掲げる目標の達成に向けて、計画の実効性を高めるため、市民との協働を図りながら、最も有効な手段により施策を展開することが必要です。								

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

- ・PDCAサイクルが全庁的な取り組みとなるよう職員の意識改革を図り、行政評価の成果を総合計画の進行に反映する。
- ・市民参画による行政評価を実施するため、引き続き、行政評価委員会を開催する。
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の具体的な効果の検証方法や新たな施策・事業を実施するための改訂版の策定を検討する。

（反映状況）

- ・行政評価を実施し、総合計画の進行管理を行ったが、職員の意識改革を図ったというレベルまでは届かなかった。
- ・行政評価委員会を開催し、市民参画による行政評価を実施した。
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の新たな事業の追加や指標の見直しを行い、改訂版を策定した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)行政評価の効果的な運用

○施策の成果の検証と取り組みの改善、構築

- ・事務事業評価(事後評価) H28年度の事務事業(一般会計277、特別会計8)について事後評価を実施した。
- ・施策評価 全72施策について内部評価を実施した。

【花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価】

- ・総合戦略に定めるKGI(重要目標達成指標)15項目、KPI(重要業績評価指標)98項目のH28年度実績値について評価を実施した。
- ・県立大の「総合戦略推進支援事業」を活用し、市内4地域別の住民異動状況等について詳細な分析を行った。
- ・掲載事業の精査、KGI・KPIの項目変更及び目標値の修正等を行い、H30.3に第2次改訂版を策定した。

○市民参画による行政評価の実施

行政評価委員会による評価

- ・5月25日～8月10日に全体会2回、各部会4回開催した。13施策について評価を実施した。評価報告書については、庁内で共有し、各課で検証を行うとともに市ホームページで公表した。

【花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催】

- ・H29.6、H30.3の2度開催し、実績評価の結果について報告し、意見を聴取した。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
—				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結	
1	行政評価推進事業(一般行政経費)	秘書政策課	一致	直結	-
	事務事業評価の実施(一般会計277事業、特別会計8事業)、施策評価の実施(全72施策)、行政評価委員会の開催(13施策、全体会2回・各部会4回開催)				
2	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	秘書政策課	一致	直結	-
	花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策・事業の効果を検証し、総合戦略を推進する。(有識者会議の開催 2回)				

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証において、総合戦略全体のみならず、地方創生交付金事業など個別の事業について検証を行う必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政評価を実際に担当する職員の評価に対する意識を高める必要がある。 行政評価の手法について、より効果的で職員の負担の少ない手法を検討することが必要である。 行政評価の結果やまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策・事業の効果検証結果について、市民の声を聴くことで、評価・検証結果を向上させる必要がある。 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルにより行政評価を行う意義について再確認するため、職員研修を実施する。 より効果的で職員負担の少ない行政評価とするため、評価手法について検証、情報収集を行い、システム化を含めた検討を行う。 行政評価委員会、まち・ひと・しごと創生有識者会議を引き続き開催し、意見を伺う。
--